

公共交通を考えるワークショップ

第2回

この地域のくらしの足を
どうしたらよいか？

みんなで考える
ワークショップ

引田・代継・網代区域

《網代》

日時：平成30年10月6日（土）
午後7時～午後9時（予定）

場所：網代会館



ワークショップの実施にあたって

1) ワークショップとは

- もともとの意味は、「工房」や「作業場」。
- いろいろな立場・考えの人が集まり、一緒に作業することなどを通じて、お互いの意見を理解し合い、協力して新たな発見や共通の方向性を見出す場です。
- 意見を戦わせる「議論」の場ではありません。



このワークショップでも、さまざまな方が集まって、お互いの考えを尊重しながら自由に意見を出し合い、地区の交通について一緒に考えていきます。



ワークショップの実施にあたって

2) ワークショップの進め方

第1回（9月24日（月・祝））・・・開催済み
「ワークショップの目的と地域の現状を知ろう」

第2回（本日）
「地域の交通のあるべき姿を考えよう」

第3回（11月23日（金）午後7時～）
「地域に必要な交通がどのようなものかを考えよう」

地区にお住まいの方（抽出）に
アンケート調査を実施予定

第4回（平成31年1月19日（土）午後7時～）
「地域の交通手段を考えよう」



ワークショップの実施にあたって

3) 本日のワークショップで行いたいこと

- 第1回ワークショップのふりかえり

⇒ 第1回ワークショップの結果を再度共有します

- グループワーク

(1) この地区の交通には、どのような機能や役割が必要だと思いますか？

(2) (1)で挙げた、この地区の交通に必要な機能や役割のうち、特に優先的に必要なものは何ですか？

⇒ この地区の交通はどのような交通が良いのかを、みんなで意見を出して共有します

- 交通手段の事例紹介

ワークショップの実施にあたって

4) ワークショップでの“約束”

- たくさんの意見・アイデアが大事です。正解はありません。思い切って自分の思いをお話ください。
- 考え方は人それぞれです。自由な意見交換ができる雰囲気づくりを心がけましょう。
(最初から意見を否定・非難しない。人の話をさえぎらないなど)
- みなさんがたくさんの意見を出せるよう、1人のお話が長くなり過ぎないよう心がけましょう。

ご協力お願いします！！



ワークショップの実施にあたって

4) ワークショップでの“約束”

- 会議ではいろいろな意見が出るとは思いますが、
「最後はまとめる」ことを心がけましょう。
- せっかくの機会なので、楽しく、前向きな意見交換をしましょう。（文句ではなく、リラックスして話しましょう。）

ご協力お願いします！！



第1回ワークショップのふりかえり

※詳しくは、別紙「第1回ワークショップ結果概要」参照。

■外出の目的と目的地

通勤

- ・市内：五日市、増戸、草花、引田など市内各地
- ・近隣市町：福生市、武蔵村山市、日の出町
- ・都内（会議）

通院

- ・市内：公立阿伎留医療センター、秋川駅周辺
- ・近隣市町：福生（福生整形外科）、立川市内のクリニック
- ・その他：相模原（渚野辺総合病院）、二子玉川駅周辺など

買物

- ・市内：いなげや（伊奈）、オザム（代継）、東急（秋川）、JA、パークショッピングセンターなど
- ・近隣市町：イオン（日の出）、福生、八王子方面など

その他

- ・市内の移動：市役所、五日市ファインプラザ、孫の迎えなど
- ・市外の移動：福生、東京都心（習い事）、横浜（実家）
- ・子どもの通学の送迎：武蔵増戸駅

第1回ワークショップのふりかえり

■交通手段

- 市内や近隣市町への外出は自家用車（自ら運転）が大半。
家族に送迎を頼む人も多い。
- 家族が不在の場合は、武蔵増戸駅まで徒歩。
- 通勤のときは、自転車、オートバイの利用や武蔵増戸駅から鉄道も利用、武蔵増戸駅までは家族の送迎や徒歩。
- 酒席のある場合は徒歩、電車、バス（るのバス）。
- 車を運転しない方は、自転車と電車を利用。
- 通院のときは、武蔵増戸駅から鉄道を利用、武蔵増戸駅までは自家用車。またはバス利用（バス停まで徒歩20分）。
- 市役所へは、自転車も利用。

第1回ワークショップのふりかえり

■外出で困っていること

- 自転車利用の場合、雨が降ると困る（雨の時は徒歩）。
- 雪が降ると坂道が凍結するので危険。
- 自家用車を使用できない時は不便。
- 将来的に車に乗れなくなった時を考えると、バスも何もなし（そのため、現状では高齢になっても車に乗り続けるしかない）。
- 駅周辺の駐車を利用すると、駐車料金がばかにならない。

- 鉄道駅やバス停が遠い。
- 電車の本数が少ない。
- 電車の乗換がスムーズでない時がある。
- るのバスの本数が少ない。
- 荷物が多きときは、電車やバスは不便。

第1回ワークショップのふりかえり

■ 外出で困っていること（続き）

- タクシーは不便（運賃が高い、呼ぶのに時間が掛かる、利用できないことも）。
- 高低差があり、外出が大変。
- 道路が狭い。
- 網代橋が狭いため、歩行者がいる場合は最徐行が必要。
- 子どもの送迎は、朝が早く、夜は遅いため大変。
- 夜は道が暗く、遅い時間は歩いて帰れない。子ども一人では心配。

■ その他

- タクシー利用券（補助券）があったら良い。
- 地域住民が主体となった移動サービスがあったら良い。
- 近隣のゴルフ場や病院の送迎バス、スクールバスへの住民混乗はできないか。

本日のグループワークについて

第1回ワークショップ

地区の交通の
さまざまな問題

公共交通、道路、鉄道など・・・

ここから先は、地区内の公共交通（くらしの足）について考えていきます

- どのような地区内の公共交通がよいでしょうか？

「どのような」を
ばらして

(グループワーク1)

何が特に大事なことか
(優先的に必要か)
絞り込みます

(グループワーク2)

⇒その結果、この地区の公共交通
のテーマを浮き彫りにしたい 10

グループワーク（１）

お聞きしたいこと

これからもこの地区で住み続けるために、

この地区の公共交通には、どのような機能や役割が必要だと思いますか？

※次のページの視点も参考にして、具体的にどのような機能や役割が必要か、思いつくことをどんどん挙げてください。



(参考) 地区の公共交通に必要な機能や役割を挙げる際の視点と例

視点	お聞きしたいこと	例
①対象者	利用者は誰でしょうか？	<ul style="list-style-type: none"> • 車を運転できない人 • 免許を返納した人など
②運行のタイプ	どのような運行サービスが必要でしょうか？	<ul style="list-style-type: none"> • 家や目的地の前（近く）まで来てくれる • あちこち寄り道する（あるいは、しない）など
③目的地	どこへ行くことができればよいでしょうか？	<ul style="list-style-type: none"> • ○○病院 • ○○店 • ○○駅など
④運行の頻度	どのくらいの頻度で運行が必要でしょうか？	<ul style="list-style-type: none"> • 1週間に○日 • 1日に○便など
⑤運行の時間帯	どのような時間帯で運行が必要でしょうか？	<ul style="list-style-type: none"> • 朝と夕方 • 病院に合わせてなど
⑥料金	利用時の料金はどうかあるべきでしょうか？	-
⑦地域づくり、まちづくり	地域づくりなどの面でどのような機能が必要でしょうか？	<ul style="list-style-type: none"> • 駅と地域を結ぶ • コミュニティをつくるなど
⑧そのほか	-	<ul style="list-style-type: none"> • 狭い道路を通行できるなど

グループワーク（２）

お聞きしたいこと

（１）で挙げた、この地区の公共交通に必要な機能や役割のうち、特に優先的に必要なものは何ですか？

※（１）で挙げたものから、例えば、特に「重要なもの」、「緊急に対応が必要なもの」などの観点を考慮して選んでいただければと思います。



次回予定

第1回「ワークショップの目的と地域の現状を知ろう」



第2回「地域の交通のあるべき姿を考えよう」



第3回（11月23日（金）午後7時～）
「地域に必要な交通がどのようなものかを考えよう」

内容（予定）・・・変更になる可能性があります。

○素案の提示

第2回までの内容をまとめたものをご説明

○グループワーク

- ・素案を踏まえて、この地区の公共交通について、さらにみなさまと一緒に考えていきます。

※参加者募集時に予定していた「実地調査」は行わない予定です。
（グループワークにできるだけ時間を取りたいため）



(参考資料1) ワークショップについての補足

1) ワークショップ開催の趣旨

2000年10月
(平成12年)

るのバス開業

2015年度
(平成27年度)

公共交通の利用に関する市民意識調査の実施

2016年度
(平成28年度)

「あきる野市公共交通のあり方検討会議」を設置
⇒「あきる野市公共交通のあり方に関する提言書」

2017年度
(平成29年度)

「あきる野市公共交通のあり方検討報告書」
⇒優先的に公共交通対策を検討する必要がある地区を、市が「公共交通優先検討区域」と設定



〔深沢区域、引田・代継・網代区域、
草花折立下区域、東秋川橋西側区域〕

「引田・代継・網代区域」も該当

ワークショップを開催して、地区の交通の現状、課題、あり方などについて、地区のみなさまと一緒に考えていきます。

2) ワークショップを行う理由

- ① 区域の皆様が日ごろ交通手段をどうされているかは区域の皆様にお伺いするのが一番です。
- ② 様々な交通手段を考えるために、区域の皆様からご協力いただける部分があるのかどうかをお教えてください。
- ③ 公共交通対策などを進めるに当たり、市民の皆様と行政とで共通の認識を持つことが必要です。



そのため、この取り組みへ積極的な参加・ご協力をお願いします。

3) ワークショップの成果

ワークショップの成果（予定）

ワークショップ（第1回～第4回）



「新たな公共交通の導入は必要なのか」、
「必要な場合、どのような交通手段を入れるのがよいか」
ということについて、地区としての案をまとめます。



今後の取り組みを進めるうえでの検討材料として活用。

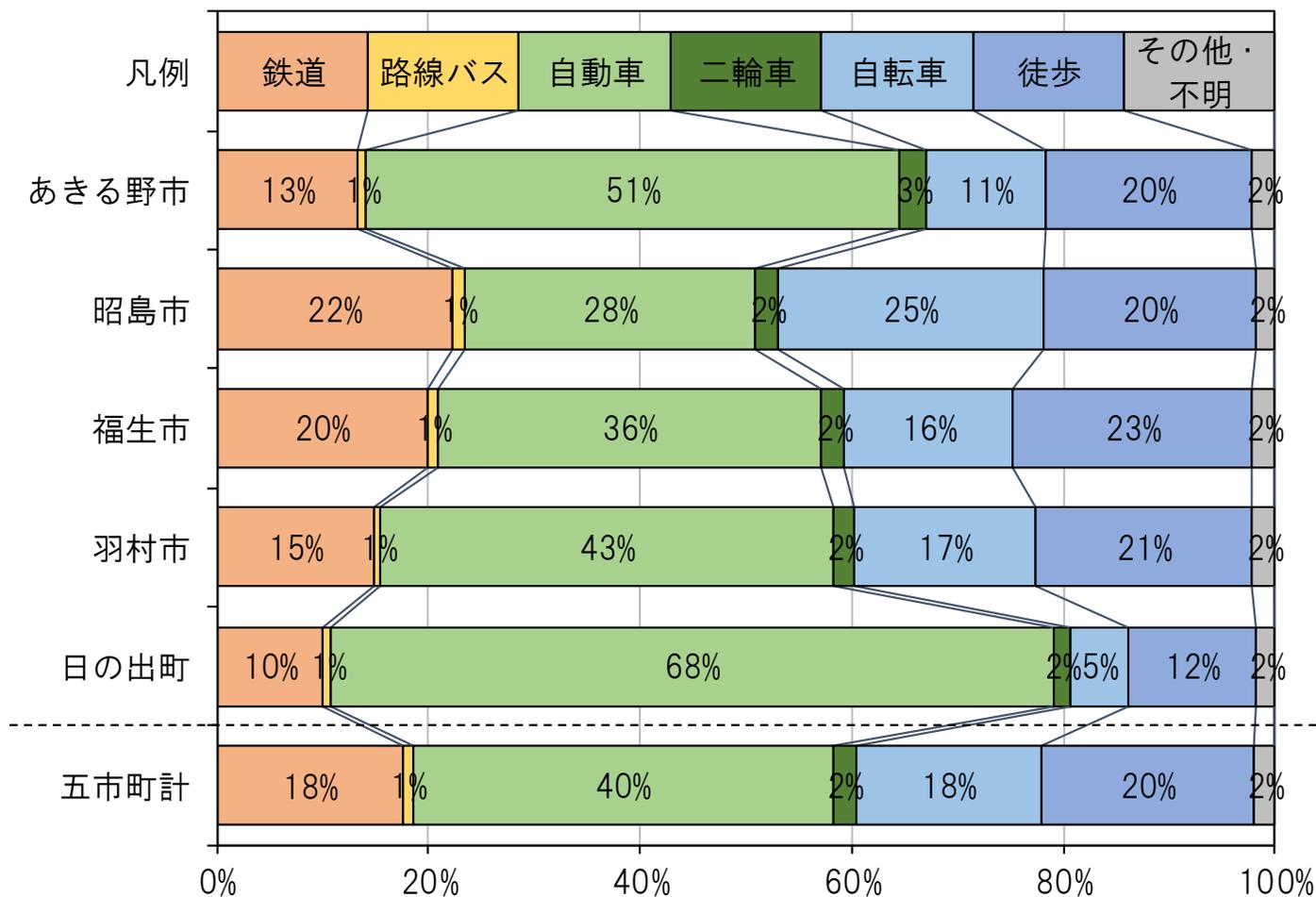
- 市が設定した4つの「公共交通優先検討区域」（深沢区域、引田・代継・網代区域、草花折立下区域、東秋川橋西側区域）での案を踏まえ、この4つの区域の内、優先的に対策が必要な区域がどこかを考えます。
- 来年度以降、実証実験の実施について検討します。

(参考資料2) あきる野市と近隣自治体の比較

1) 交通手段の利用状況

- あきる野市では、近隣の自治体と比べても自動車が多く利用されています。

■ 交通手段別の利用率



出典：東京都市圏パーソントリップ調査「目的種別・代表交通手段別OD表」（東京都市圏交通計画協議会、H20）より作成
 ※対象自治体における全ての目的の発生・集中量を代表交通手段別に集計。なお、出典が異なるため、第1回ワークショップでの資料とは値が異なります。

